

大鉄協主催 ～ 鉄螺卸商向け在庫管理セミナー ～

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

経営力強化（事業継承、資金管理等）、営業力強化、在庫適正化等、卸売業における課題は、多種にわたります。その中で本セミナーにおいては、在庫管理に着目し、商品に関するロス进行管理するという広い視点で捉えた手法を解説し、また実現に必要なIT活用についてご紹介させていただきます。

開催日時

平成24年11月30日（金） 17:30～19:00
（17:00受付開始）

開催場所

鉄鋼会館 5号会議室
（大阪市中央区北久宝寺3-5-12 御堂筋本町アーバンビル11階）

セミナー概要

鉄螺卸における在庫管理の最適化

株式会社日本能率協会コンサルティング

テクニカルアドバイザー

近藤 孝憲 氏



経営者にとって在庫はお金ですね。社員は在庫をモノとしか扱っておらず、在庫を大切に扱わない会社が多いのが現実です。この場合、在庫より広い視点で、商品に関するロス进行管理する捉え方で、従業員を教育し、ご自身も経営することが重要です。

商品に関するロス进行管理すること＝広い意味での在庫管理

商品に関するロスとは

- ①現物ロス： 入出荷違い、商品抜き取り・転売
- ②値下げロス、廃棄ロス： 値下げ、見切り、廃棄
- ③在庫ロス： 低回転在庫、不動在庫、帳簿・実在庫過不足
- ④販売機会損失： 欠品、品揃え不足

商品に関するロス进行管理する目的

- ①入・出・残の現物管理⇒社内外問わずの不正防止
⇒現物ロス削減
- ②売れ筋把握⇒販売管理の精度アップ⇒売上拡大
- ③死に筋の把握⇒在庫コスト圧縮⇒粗利益増大
- ④在庫を動産資産としての見える化⇒動産融資による資金調達

1. 食品・日用雑貨卸における在庫管理の歴史と構築のノウハウ

商品アイテムが30万点以上という食品・日用雑貨卸が、地道に在庫管理を構築した歴史をステップとして説明。その構築上の苦労話と構築のノウハウを解説

2. 商品に関するロスが発生する現実と防止の定石

商品に関するロスは通常業務では見え難いもの。放置すると取引先・従業員の不正を助長する。さらに、お客様への真のサービスが出来ているのかも点検が必要。商品ロス発生の実態と防止の定石を解説

3. 鉄螺卸における商品ロスを防止する手間要らずの在庫管理

鉄螺卸が取り扱う商品アイテム数は10万～30万点と多く、在庫管理に手間が掛ると仕入・販売・納品業務が滞る心配がある。その場合の手間要らずの在庫管理を解説。

4. 在庫管理を支える新しいITの利用法

持たずに使う安心・安全なクラウドサービス

協力

一般社団法人 大阪卸商連合会

協賛

株式会社オーシーシー情報センター（一般社団法人大阪卸商連合会電算機事業部）
日本電気株式会社